

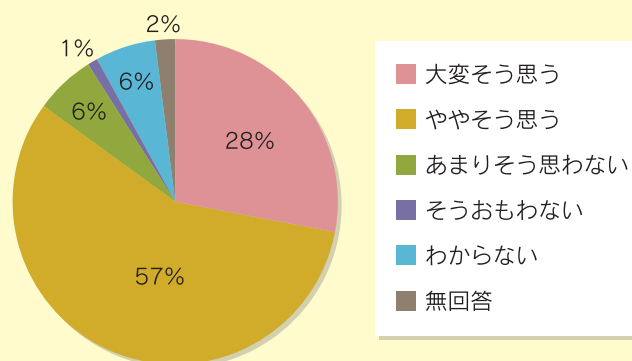
群馬県版校務支援標準システム

～ 教育の質の向上を図るために ～



校務支援システムは、教職員のゆとりを確保し、教育の質の向上を図るためのツールです。群馬県では、平成21年度末現在で約56%の学校に導入されています。すでに、導入されている学校では、8割以上の先生方がその効果を実感しています。

群馬県版校務支援標準システムの効果について



太田市モデル校の6校のアンケート結果より

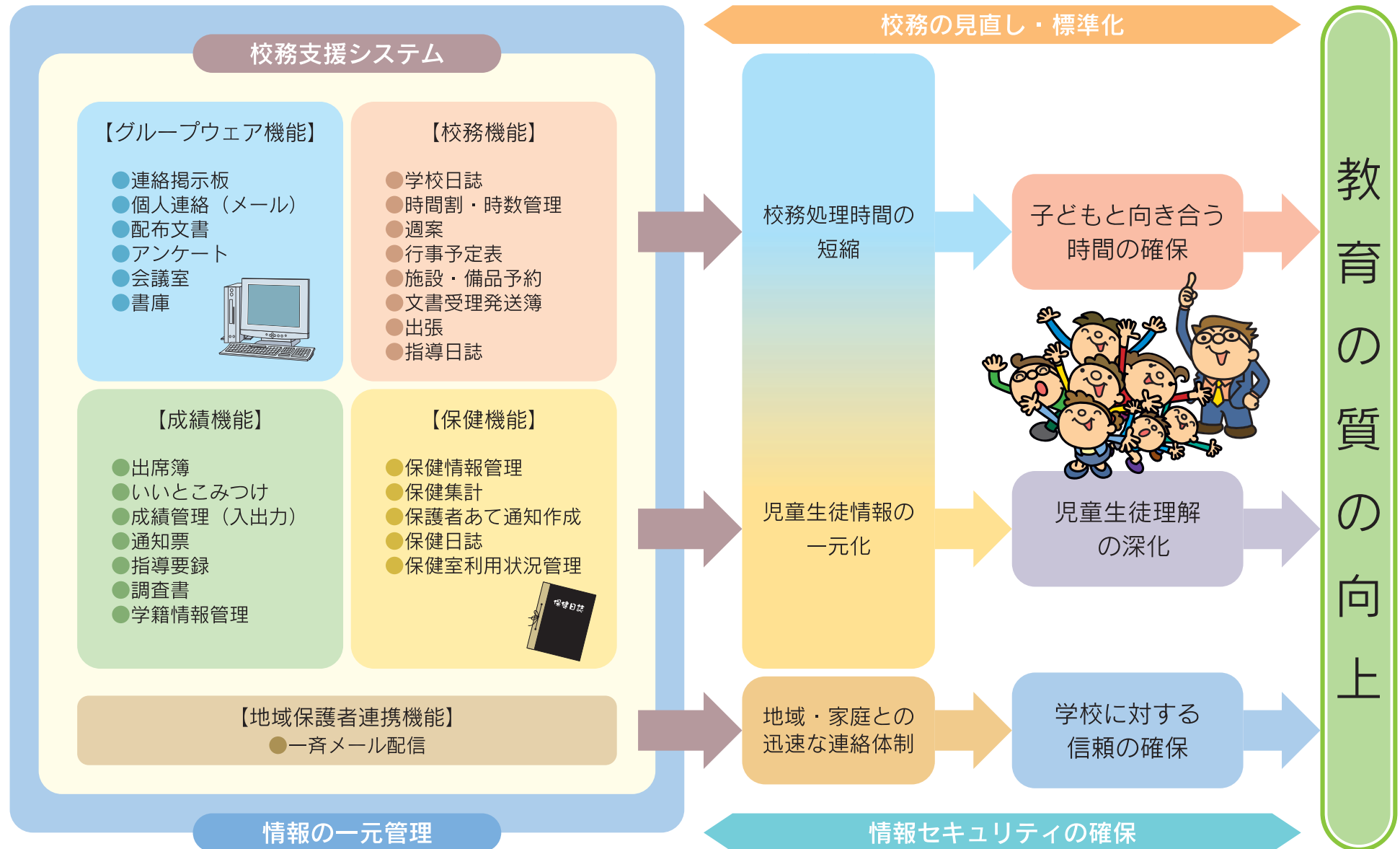
群馬県教育委員会義務教育課
校務の情報化連絡協議会

平成22年3月

< 平成21年度学校マネジメント支援に関する調査研究事業 >

－ 文部科学省委託事業 －

《 校務支援システムは、教育の質の向上に役立ちます 》



群馬県版校務支援標準システム（C4th）が導入されている学校の先生方の声

連絡掲示板

- 朝の打合せの時間が短くなるので、教室に早くいけるようになる。
- 投稿や閲覧を自分の空いている時間にできるので、時間の有効活用ができる。

学校日誌

- 時間のあるときに今後の予定を予め入力しておけるので、計画的に業務をすすめられる。
- パソコンで入力するので、従来の手書きで記録するよりも時間が短縮できる。
- 手元のパソコンから一日の予定を見ることができるので便利である。

出席簿

- 担任だけでなく、連絡を受けた教員が入力できるので、ミスが少なくなる。
- 出欠の傾向がわかるので、不登校傾向のある児童生徒の早期発見に役立つ。
- 欠席者の検索ができるので、出停者等の人数の確認が素早くできる。

通知表作成

- コンピュータに入力したデータがそのまま使えるので、成績を補助簿から転記したり、氏名印を押ししたりする仕事が減る。
- 欠席や遅刻の日数が自動的に表示されるので、確認だけですむ。

いいところみつけ

- いろいろな職員が、登校や掃除の様子などを担任に伝えられるので、担任として今まで気付かなかった子どもの様子を知ることができる。

健康診断

- 「定期健康診断の記録」や「発育の様子」を印刷して配布することができるので、便利である。
- 「お知らせ(受診のすすめ)」を自動的に作成できるので、健康診断の事後処理の時間を短縮できる。

